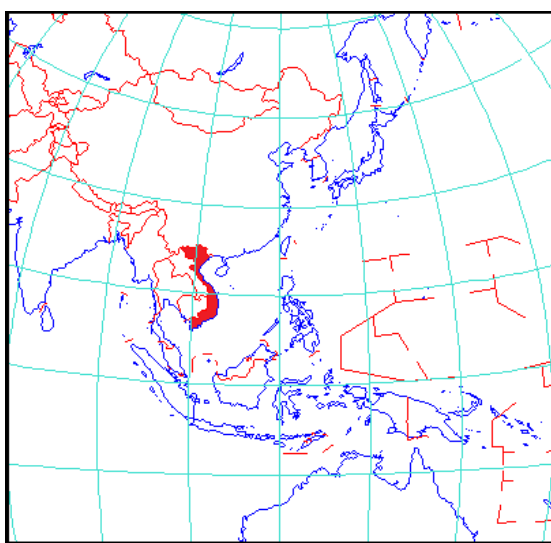


大学生・高校生の地理的認識の調査報告

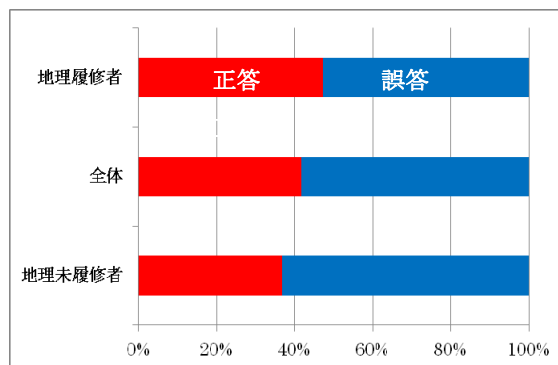
ベトナム? それどこ?

高校生調査の結果(ベトナムの位置)

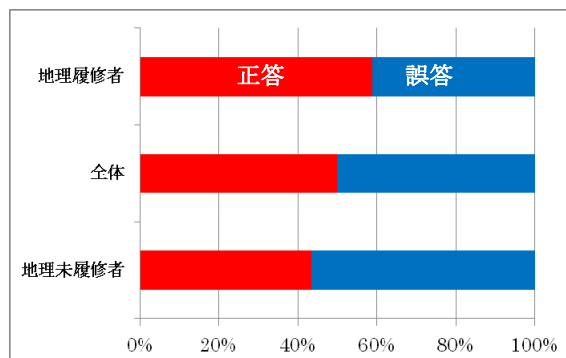


東アジア・東南アジアの地図

(赤がベトナム)



大学生調査の結果 (ベトナムの位置)



近年、首脳相互訪問や貿易の拡大などで結びつきが強まっているベトナム。しかし、高校生の6割、大学生の半数は、ベトナムの位置が分からない。また、高校生でも大学生でも地理履修者の未履修者との認識の差は明瞭です。加えて、高校での地理の学習有無によって世界認識の差は拡大します。国際社会で活躍する人材の育成のためにも高校地理教育は必要です。

— 国際社会に生きる日本人の養成に必要不可欠な地理教育の充実を —

## 【日本地理学会からの提言】

### 一 国際社会に生きる日本人として必要不可欠な地理教育の充実を一

#### 1、小中高校を通じて、地図・地理教育の充実を図り、社会に関心を持つ国民の育成を図ること。

地名や国名の認知は、単なる暗記を求めているわけではありません。その場所を地図上できちんと把握しているということは、そのことに関心を持っているということを示しています。広く現代世界と日本の諸事象に関心を持つことは、これからの社会に生きる子どもたちにとって不可欠な素養であると考えます。

個人にとって不可欠というだけではありません。アメリカ合衆国では地理が適切に学ばれなければ、外国に関する国民の関心が薄れ、国益を害する結果となると認識され、連邦議会においても「全国地理意識強化週間」の決議を行い、地理教育の改善を促してきました。

中学校までの社会科地理教育では国際社会に生きる日本人を育成するという点において不十分であることは、私たちの簡単な調査からも明らかです。また、大学生の調査から、高校における学習が世界に対する関心を高め、地理的知識を定着させるためにも極めて重要であることが分かります。

地理と歴史は、双方を学ぶことによってはじめて地理歴史教育の本来の目的を達することができるのです。現代世界の認識が不十分な生徒に歴史を教えても十分な成果は上がらないことは歴史を専門とする教員からも指摘されています。歴史学習を充実させるという意味でも基盤となる地理教育の充実が必要です。また、現代世界を認識するには歴史的背景を知っておく必要があります。そのため地理にとっても歴史学習は不可欠です。高等学校では地理と歴史のバランスのとれた学習を保証する制度設計を求めます。

#### 2、地理を専門とする教員の確保と教員の研修機会の充実に努めること。

地図・地理教育の充実のためには、教員の確保と資質の向上が不可欠です。高校や中学校においては、地理を専門とする教員を各校最低一人配置することを求めます。小学校においても、社会や地理の専門の教員を置くことを求めます。

また、学校教育の根幹は授業にあるという原則に立ち返り、授業充実のための多様な研修機会の活用と参加（例えば、学会（学術登録団体）の開催する研究会等への参加を促すなど）のシステム構築が必要です。学校法人や教育委員会の関係者には先生方がよりよい教材研究ができるような環境整備が行われるよう要望します。

## 【調査の目的】

本調査は、2005年、2007年に本委員会が行った世界認識調査の続編です。前回の調査はマスコミでしばしば取り上げられ、話題になりましたが、その後状況は改善されたでしょうか。調査は、継続性が重要であるという観点から大学生を対象にした調査では、ほぼ同様の内容（国及び都道府県の位置に関する質問）で実施しました。

また、高校生を対象にした調査では、前回と同様に食糧・エネルギー・環境についての設問を加え、地理的認識を総合的に検討することを目的としました。

## 【調査の実施概要】

調査対象：高校生 全国の34校(6338人)

地理教育専門委員が地理担当教員を中心に依頼しました。

大学生 全国の30大学(2716人)

前回調査実施校を中心に各大学の地理学担当教員等に依頼しました。

調査日時：2013年11月から2014年2月の期間で、担当教員が適宜設定しました。

方法：アンケート票に回答する方法で行いました。

調査項目：＜大学生＞

- 1 高校時代の地理の履修の有無。
- 2 10カ国の位置を世界地図上に記した番号から選択。
- 3 10都県の位置を日本地図上に記した番号から選択。

＜高校生＞

- 1 地理の履修の有無
- 2 10カ国の位置を世界地図上に記した番号から選択。
- 3 10都県の位置を日本地図上に記した番号から選択。
- 4 北方領土問題の相手国を解答。  
食料自給率を語群から選択。  
原油の輸入先を語群から選択。
- 5 一日の最も早くはじまる国を地図中から選択。  
エルニーニョの発生海域を地図中から選択。

★ 本調査の詳細は、日本地理学会春ホームページ <http://www.ajg.or.jp/> で公開します。

## 【調査結果の概要】

### <高校生調査>

#### 1、国の位置がわからない。

国の位置は、66%で1/3の生徒が地図上でどこにあるのか分からない状況です。前回調査に比べて10%ほど正答率が向上しました。これは小・中学校における社会科教育、地理教育の改善の成果と言えるでしょう。しかし、十分とは言えません。スイスの正答率は36%、ベトナムは43%、フィンランドは55%です。120年にもおよぶ友好の歴史があるトルコの位置の正答率も56%にとどまっています。これらの国はいずれも国際関係を考える上でも重要な国です。地理教育のさらなる改善・充実が必要です。

#### 2、食料問題・環境問題の理解は不十分。

日本の食料自給率の正答率は、前回36%で今回49%へと向上しましたが、いまだに2人に1人が理解していません。エルニーニョの発生海域の正答率は、前回37%で今回38%。食糧問題や環境問題への理解は不十分と言わざるをえません。一方、北方領土の正答率は80%から91%へと向上しました。小学校以来の社会科教育の中で繰り返し扱われています。現状をきちんと把握することは、これからの社会を生きる日本人として不可欠な素養です。必要な内容は、繰り返し扱うことが重要です。

#### 3、地理履修者は世界の諸問題に対する認知は高い。

地理履修者と未履修者の混在する高校の分析では、すべての国の位置が地理履修者で上回り、正答率に有意な差があることが分かりました。同時に、地理的基本事項に対する設問では、食料自給率、原油の輸入先、エルニーニョの発生海域、時差においても地理履修者の正答率に有意な差があることがわかりました。地理の学習は、国際社会に生きる日本人の育成に大きな意味があるといえます。

### <大学生調査>

#### 1、前回調査より国の認知度はさらに低下。

今回調査の10か国中、8カ国は前回と同じ国を質問していますが、いずれも正答率は低下しています。これまでの地理学習の軽視が国際感覚を失わせるという結果になっているのではないのでしょうか。

#### 2、地理履修者は国の認知度が高い。

今回の調査では、高校における地理履修者は、すべての国の位置の位置で未地理履修者を上回り、インドを除いて正答率に有意な差があることがわかりました。地理履修者と未履修者の差は、スイスとベトナムが15ポイント、フィンランドでは14ポイント、南アフリカ共和国とトルコ共和国が10ポイントにもなります。大学生は、卒業後日本社会を担っていく貴重な存在です。バランスのとれた国際感覚を身に付けさせるためにも高校地理教育の果たす役割を再認識する必要があります。

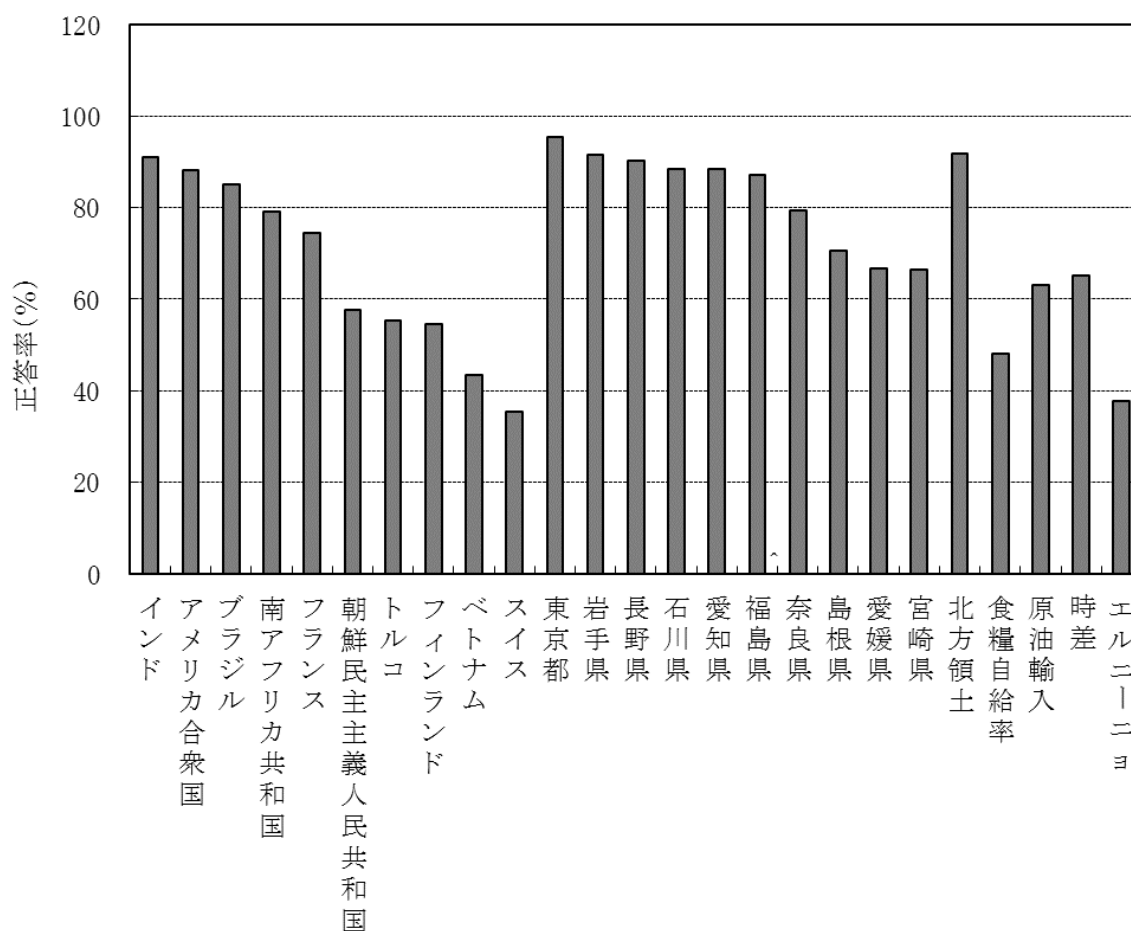
## 地理認識調査集計結果〔2013年度〕

### 1. 高校生調査

#### (1) 地域別調査対象高校数・回答生徒数

都道府県	高校数		回答生徒数	
	総数	履修・非履修両方	総数	履修・非履修両方
北海道	4	4	923	923
宮城県	1	0	9	0
茨城県	1	1	84	84
埼玉県	5	2	1,449	510
千葉県	11	7	1,238	935
東京都	7	1	1,426	355
京都府	2	2	387	387
兵庫県	1	1	224	224
島根県	1	1	146	146
沖縄県	1	1	452	452
総計	34	20	6,338	4,016

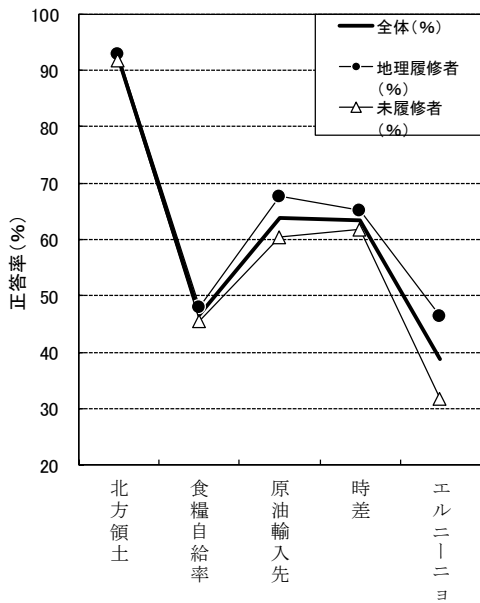
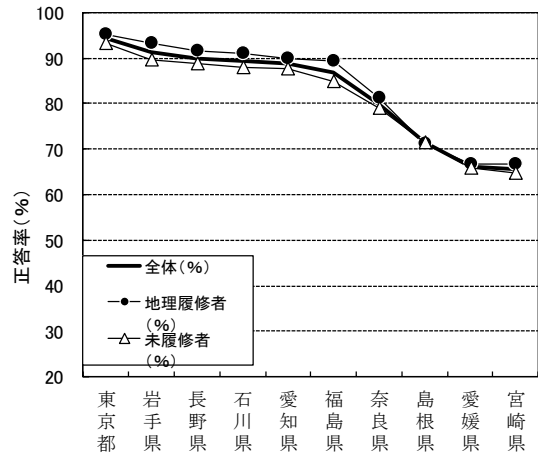
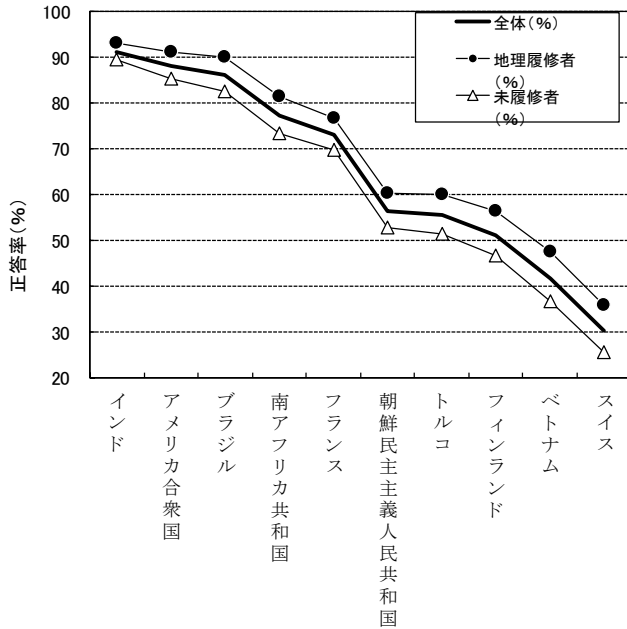
#### (2) 設問別正答率



			正答率 (%)	実数(人)		
				正答者数	誤答者数	計
国	c	インド	91.1	5,773	565	6,338
	a	アメリカ合衆国	88.1	5,582	756	6,338
	i	ブラジル	85.0	5,386	952	6,338
	f	南アフリカ共和国	79.0	5,009	1,329	6,338
	h	フランス	74.5	4,721	1,617	6,338
	g	朝鮮民主主義人民共和国	57.7	3,659	2,679	6,338
	b	トルコ	55.3	3,505	2,833	6,338
	d	フィンランド	54.6	3,458	2,880	6,338
	j	ベトナム	43.4	2,749	3,589	6,338
	e	スイス	35.4	2,244	4,094	6,338
都 県	c	東京都	95.4	6,048	290	6,338
	a	岩手県	91.5	5,798	540	6,338
	d	長野県	90.2	5,716	622	6,338
	f	石川県	88.4	5,601	737	6,338
	e	愛知県	88.3	5,599	739	6,338
	b	福島県	87.2	5,528	810	6,338
	g	奈良県	79.5	5,039	1,299	6,338
	h	島根県	70.7	4,481	1,857	6,338
	i	愛媛県	66.8	4,232	2,106	6,338
	j	宮崎県	66.5	4,213	2,125	6,338
地理的 知識	①	北方領土	91.7	5,813	525	6,338
	②	食糧自給率	48.0	3,042	3,296	6,338
	③	原油輸入	63.1	3,999	2,339	6,338
地図問題	①	時差	65.1	4,124	2,214	6,338
	②	エルニーニョ	37.8	2,393	3,945	6,338

### (3) 地理履修者と未履修者の比較

地理履修者と未履修者の比較を行う場合、地理を履修しているか否かの違い以外の条件は同一であるサンプル同士での比較が望ましい。したがって、地理履修者・未履修者両方から回答があった高校 20 校の生徒 4,016 人を対象とした。



			正答率			
			全体 (%)	地理履修者 (%)	未履修者 (%)	差 (ポイント)
国	c	インド	91.1	93.0	89.4	3.6 **
	a	アメリカ合衆国	87.9	90.9	85.2	5.7 **
	i	ブラジル	86.0	89.9	82.5	7.5 **
	f	南アフリカ共和国	77.1	81.4	73.4	8.1 **
	h	フランス	73.0	76.6	69.7	6.9 **
	g	朝鮮民主主義人民共和国	56.3	60.3	52.9	7.4 **
	b	トルコ	55.4	60.1	51.3	8.8 **
	d	フィンランド	51.1	56.3	46.6	9.6 **
	j	ベトナム	41.7	47.3	36.7	10.7 **
	e	スイス	30.2	35.7	25.4	10.2 **
都県	c	東京都	94.2	95.3	93.3	1.9 **
	a	岩手県	91.2	93.2	89.5	3.7 **
	d	長野県	90.0	91.5	88.6	2.9 **
	f	石川県	89.3	90.9	87.9	3.0 **
	e	愛知県	88.7	89.9	87.7	2.2 *
	b	福島県	86.9	89.3	84.8	4.6 **
	g	奈良県	80.0	81.1	78.9	2.2
	h	島根県	71.3	71.1	71.5	-0.5
	i	愛媛県	66.2	66.6	65.9	0.8
	j	宮崎県	65.6	66.6	64.7	1.9
地理的知識	①	北方領土	92.4	93.0	91.8	1.3
	②	食糧自給率	46.7	48.0	45.5	2.6
	③	原油輸入先	63.9	67.7	60.6	7.2 *
地図問題	①	時差	63.4	65.3	61.8	3.5 **
	②	エルニーニョ	38.7	46.5	31.8	14.7 *

\*\* 履修・未履修/正答・誤答の2×2分割表におけるχ<sup>2</sup>乗検定の結果、1%水準で有意

\* 5%水準で有意

			正答者数 (人)		
			全体	地理履修者	未履修者
サンプル数					
国	c	インド	1,171	573	598
	a	アメリカ合衆国	1,170	569	601
	i	ブラジル	1,161	566	595
	g	北朝鮮	972	485	487
	h	フランス	856	442	414
	d	フィンランド	621	317	304
	f	ケニア	607	328	279
	j	ベトナム	531	302	229
	e	スイス	472	282	190
	b	イラク	324	181	143
都県	c	東京都	1,280	619	661
	d	長野県	1,139	533	606
	f	石川県	1,075	507	568
	a	秋田県	1,065	519	546
	e	愛知県	956	468	488
	b	栃木県	900	445	455
	g	奈良県	892	428	464
	h	島根県	758	351	407
	i	愛媛県	682	323	359
	j	宮崎県	560	272	288
地理的知識	①	北方領土	1,221	584	637
	②	食糧自給率	471	240	231
	③	原油輸入先	803	414	389
地図問題	①	時差	747	381	366
	②	エルニーニョ	496	271	225



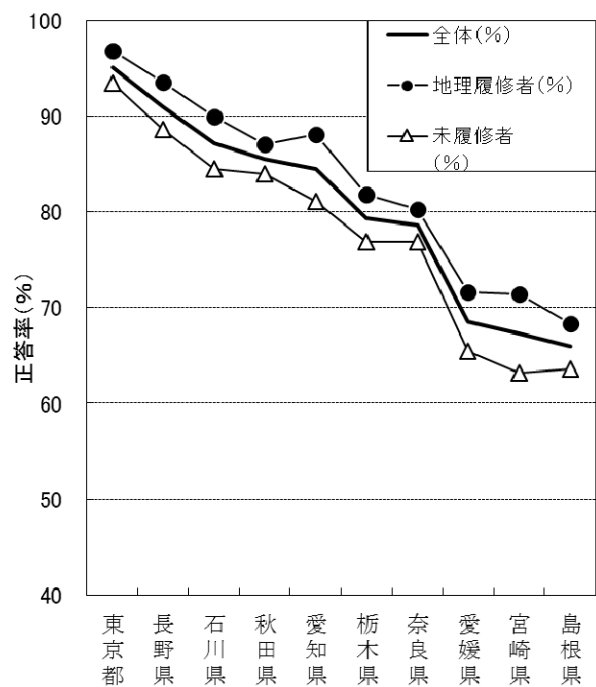
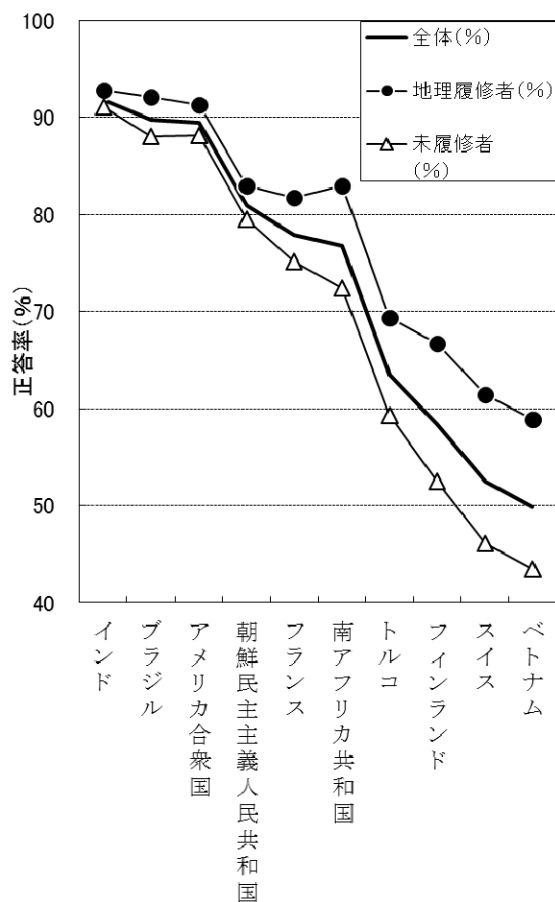
## 2. 大学生調査

### (1) 調査対象大学

北海道教育大学、青森大学、岩手大学、宮城教育大学、東北大学、常磐大学、筑波大学、高崎経済大学、獨協大学、立正大学、千葉大学、慶応大学、専修大学、日本大学、早稲田大学、駒澤大学、東京大学、創価大学、帝京大学、静岡大学、富山大学、滋賀大学、京都大学、京都教育大学、近畿大学、大阪教育大学、大阪商業・関西大学、奈良教育大学、兵庫教育大学、福岡教育大学

以上 30 大学 2,716 人(うち高校時の地理履修者 1,124 人、未履修者 1,592 人)

### (2) 設問別正答率および高校時の地理履修者と未履修者との比較



		正答率(%)				前回調査正答率(参考)			
		全体(%)	地理履修者(%)	未履修者(%)	差(ポイント)	全体(%)	地理履修者(%)	未履修者(%)	差(ポイント)
国	c インド	91.9	92.9	91.1	1.7	96.7	97.9	95.5	2.4
	i ブラジル	89.8	92.2	88.1	4.1 **	92.3	95.2	89.5	5.6
	a アメリカ合衆国	89.5	91.3	88.2	3.1 *	95.6	96.5	94.7	1.8
	g 朝鮮民主主義人民共和国	81.0	83.0	79.5	3.5 *	88.7	90.6	86.9	3.7
	h フランス	77.9	81.8	75.1	6.6 **	84.9	88.7	81.4	7.3
	f 南アフリカ共和国	76.8	83.0	72.4	10.6 **	-	-	-	-
	b トルコ	63.5	69.4	59.3	10.1 **	-	-	-	-
	d フィンランド	58.4	66.7	52.4	14.3 **	63.3	69.8	57.0	12.8
	e スイス	52.5	61.5	46.1	15.4 **	67.8	75.4	60.3	15.1
	j ベトナム	49.9	58.9	43.5	15.4 **	67.0	72.7	61.4	11.3
都 県	c 東京都	95.1	96.9	93.4	3.4 **	95.1	96.9	93.4	3.4
	d 長野県	91.0	93.5	88.6	5.0 **	-	-	-	-
	f 石川県	87.2	90.0	84.5	5.5 **	91.0	93.5	88.6	5.0
	a 秋田県	85.5	87.1	83.9	3.2 **	87.2	90.0	84.5	5.5
	e 愛知県	84.5	88.1	81.1	7.0 **	-	-	-	-
	b 栃木県	79.3	81.8	76.8	5.0 **	84.5	88.1	81.1	7.0
	g 奈良県	78.6	80.3	76.9	3.4 *	78.6	80.3	76.9	3.4
	i 愛媛県	68.5	71.6	65.5	6.1 **	65.9	68.3	63.6	4.7
	j 宮崎県	67.3	71.5	63.2	8.3 **	68.5	71.6	65.5	6.1
	h 島根県	65.9	68.3	63.6	4.7 **	67.3	71.5	63.2	8.3

\*\* 履修・未履修／正答・誤答の2×2分割表における $\chi^2$ 二乗検定の結果、1%水準で有意

\* 5%水準で有意

	サンプル数	正答者数(人)			前回調査正答者数(参考)		
		全体	地理履修者	未履修者	全体	地理履修者	未履修者
		2,716	1,124	1,592	3,747	1,843	1,904
国	c インド	2,495	1,044	1,451	3,622	1,804	1,818
	i ブラジル	2,438	1,036	1,402	3,459	1,754	1,705
	a アメリカ合衆国	2,430	1,026	1,404	3,583	1,779	1,804
	g 朝鮮民主主義人民共和国	2,199	933	1,266	3,325	1,670	1,655
	h フランス	2,115	919	1,196	3,183	1,634	1,549
	f 南アフリカ共和国	2,085	933	1,152	-	-	-
	b トルコ	1,724	780	944	-	-	-
	d フィンランド	1,585	750	835	2,373	1,287	1,086
	e スイス	1,425	691	734	2,539	1,390	1,149
	j ベトナム	1,354	662	692	2,510	1,340	1,170
都 県	c 東京都	2,535	1,053	1,482	3,564	1,785	1,779
	a 岩手県	2,478	1,026	1,452	-	-	-
	d 長野県	2,440	1,009	1,431	3,410	1,724	1,686
	f 石川県	2,439	1,020	1,419	3,267	1,658	1,609
	b 福島県	2,395	991	1,404	-	-	-
	e 愛知県	2,349	974	1,375	3,167	1,623	1,544
	g 奈良県	2,214	927	1,287	2,944	1,480	1,464
	h 島根県	1,987	843	1,144	2,470	1,259	1,211
	i 愛媛県	1,931	830	1,101	2,566	1,319	1,247
	j 宮崎県	1,741	752	989	2,520	1,317	1,203